

桐生商工会議所管内
景況調査報告書

第133回

(2021年4～6月期)

令和3年8月

桐生商工会議所
桐生中小企業相談所

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。

2. 調査時点 2021年6月1日

3. 調査期間 2021年4～6月期

4. 調査対象企業数 380企業（うち回答企業数175企業）

5. 調査対象業種
 - ①建設業（回答企業数32企業）
建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他

 - ②商業・サービス業（回答企業数77企業）
卸売業、小売業、飲食業、サービス業

 - ③製造業
機械金属関連業（回答企業数36企業）
鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他

繊維工業（回答企業数30企業）
撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d x）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

1. 景況の動き

【業況DI】

今期の業況DIは、全体で-21。前期(-48)比は+27ポイントとなった。また前年同期(-70)比では+49ポイントとなった。

業種別では、**建設業-13**（前期比-7、前年同期比+51）、**商業・サービス業-35**（前期比+29、前年同期比+44）、**機械金属製造業+18**（前期比+35、前年同期比+83）、**繊維製造業-40**（前期比+30、前年同期比+18）となっている。

【採算DI】

今期の採算DIは全体で-24。前期(-51)比は+27ポイント、前年同期(-69)では+45ポイントとなった。

業種別では、**建設業-19**（前期比+6、前年同期比+41）、**商業・サービス業-39**（前期比+28、前年同期比+39）、**機械金属製造業+16**（前期比+29、前年同期比+84）、**繊維製造業-38**（前期比+32、前年同期比+16）となっている。

【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で-20。前期(-41)比では+21ポイント、前年同期(-75)比では+55ポイントとなった。

業種別では**建設業-28ポイント**（前期比+15、前年同期比+49）、**商業・サービス業-24ポイント**（前期比+31、前年同期比+55）、**機械金属製造業+15ポイント**（前期比-6、前年同期比+91）、**繊維製造業-40ポイント**（前期比+19、前年同期比+25）となっている。

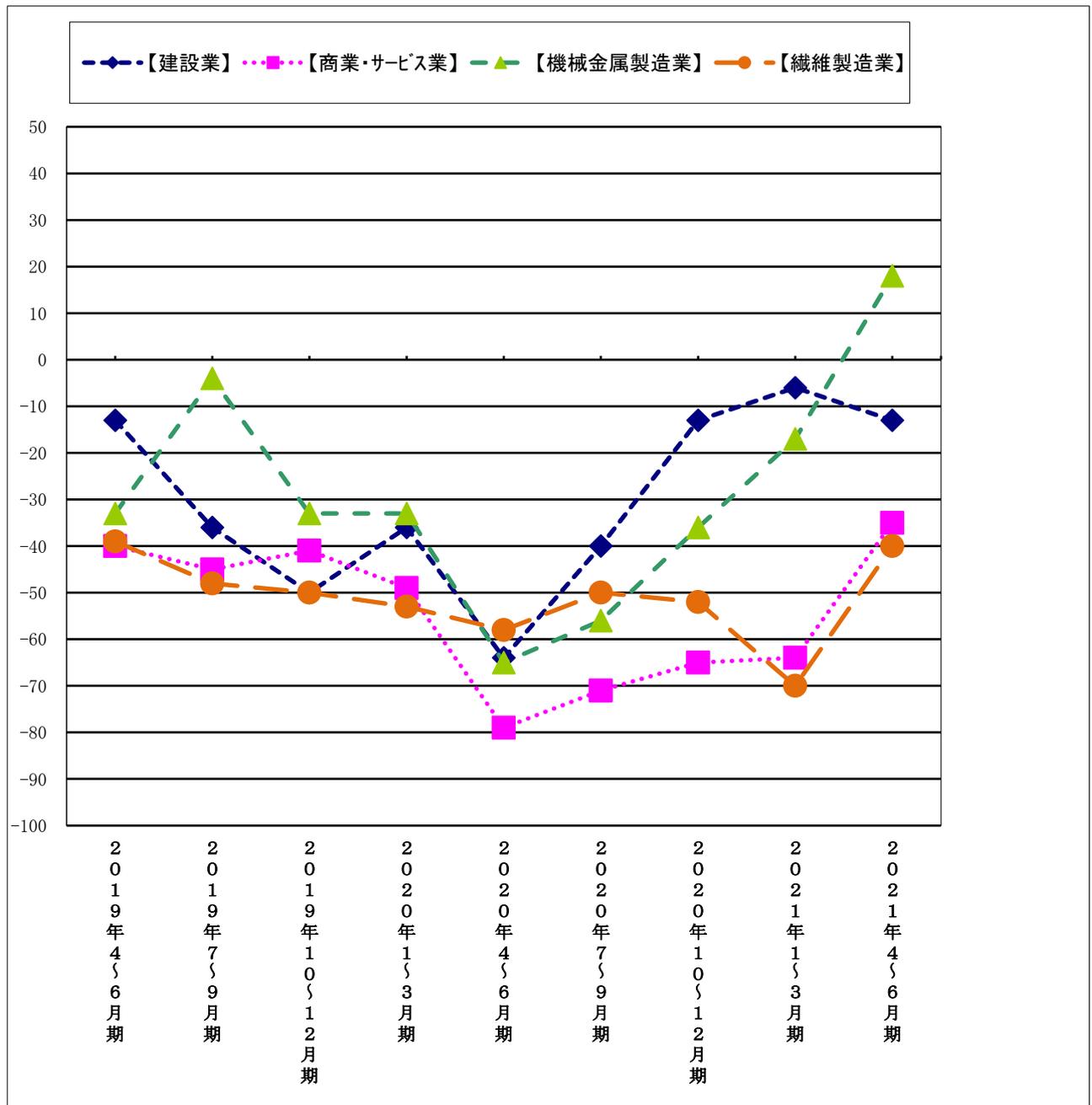
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「民間需要の停滞」(24.1%)「材料価格の上昇」(19.3%)、**商業・サービス業**では「需要の停滞」(20.5%)「消費者ニーズの変化への対応」(14.1%)、**機械金属製造業**では「需要の停滞」(14.9%)「原材料価格の上昇」(13.8%)、**繊維製造業**では「需要の停滞」(28.6%)「製品ニーズの変化への対応」(10.7%)が上位となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2019年4～6月期	-13	-40	-33	-39
2019年7～9月期	-36	-45	-4	-48
2019年10～12月期	-50	-41	-33	-50
2020年1～3月期	-36	-49	-33	-53
2020年4～6月期	-64	-79	-65	-58
2020年7～9月期	-40	-71	-56	-50
2020年10～12月期	-13	-65	-36	-52
2021年1～3月期	-6	-64	-17	-70
2021年4～6月期	-13	-35	18	-40

[2019年4～6月期] から [2021年4～6月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-13**。前期比は-7、前年同期比では+51ポイントとなった。
業種別では**建築・大工業 [-8]、土木業 [-25]、管工事業[±0]、鉄骨・鉄筋業 [+50]、電気工事業[-50]、その他 [-25]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-28**。前期比+15、前年同期比では+49ポイントとなっている。

【商業・サービス業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-35**。前期比は+29、前年同期比では+44ポイントとなった。
業種別では、**卸売業 [±0]、小売業 [-38]、飲食業 [-42]、サービス業では [-32]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-24**。前期比+31、前年同期比では+55ポイントとなっている。

【機械金属製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは+18**。前期比では+35、前年同期比では+83ポイントとなった。
業種別では、**鉄鋼業 [+50]、非鉄金属業 [±0]、金属製品業 [+25]、一般機械器具業 [-67]、電気機械器具業 [±0]、輸送用機械器具業 [+14]、精密機械器具業 [+67]、プラスチック製造業 [+43]、その他 [-50]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは+15**。前期比-6、前年同期比+91ポイントとなっている。

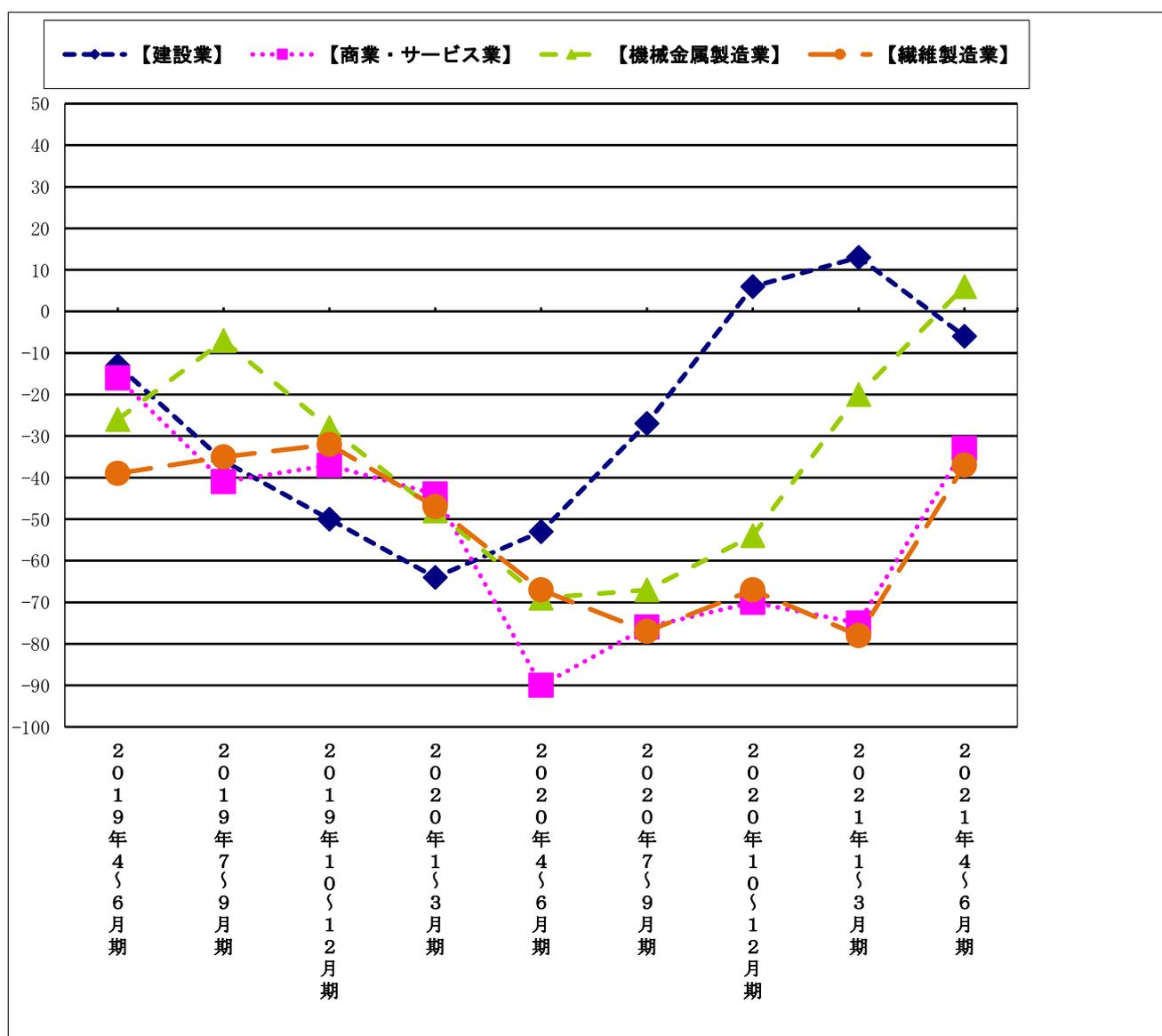
【繊維製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-40**。前期比では+30、前年同期比では+18ポイントとなった。
業種別では、**織物業 [-38]、染色整理業 [-100]、ニット・メリヤス業 [±0]、レース業 [±0]、縫製業 [±0]、刺繍業 [-43]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-40**。前期比+19、前年同期比では+25ポイントとなっている。

売上額（完成工事額）DIの推移

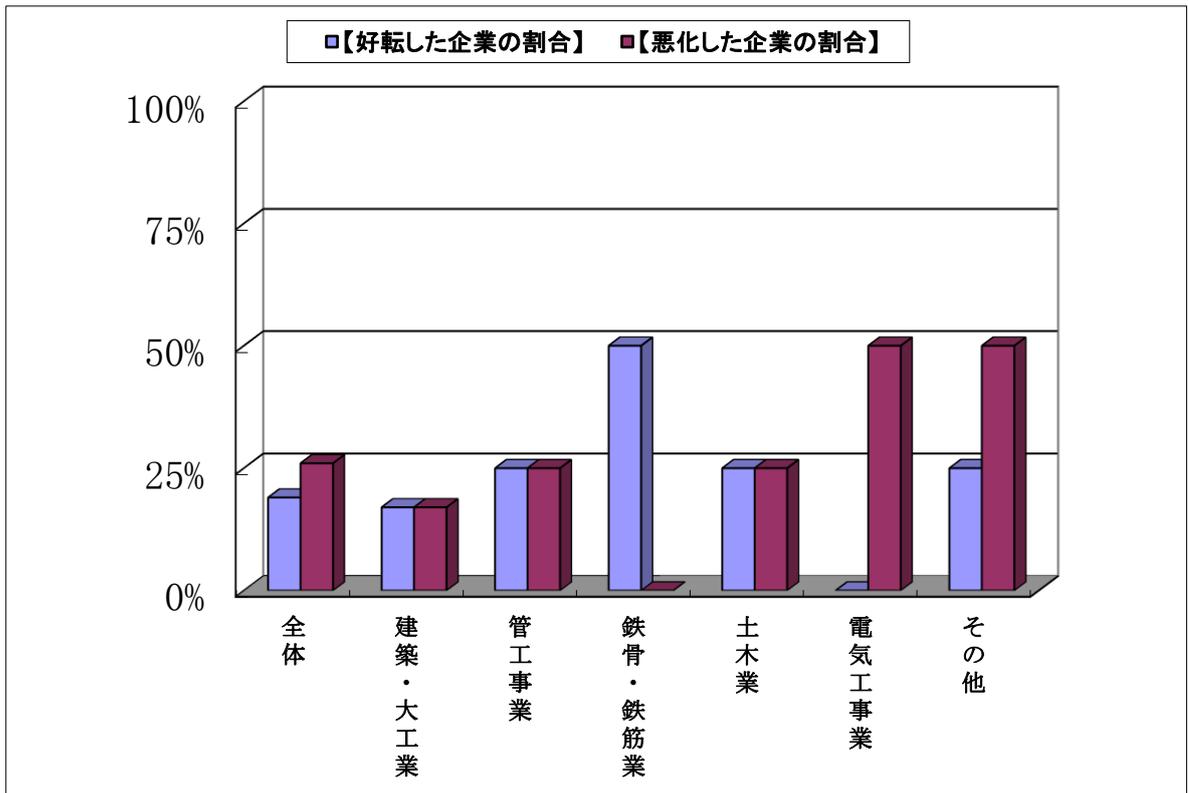
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2019年4～6月期	-13	-16	-26	-39
2019年7～9月期	-36	-41	-7	-35
2019年10～12月期	-50	-37	-28	-32
2020年1～3月期	-64	-44	-48	-47
2020年4～6月期	-53	-90	-69	-67
2020年7～9月期	-27	-76	-67	-77
2020年10～12月期	6	-70	-54	-67
2021年1～3月期	13	-75	-20	-78
2021年4～6月期	-6	-33	6	-37

[2019年4～6月期] から [2021年4～6月期]

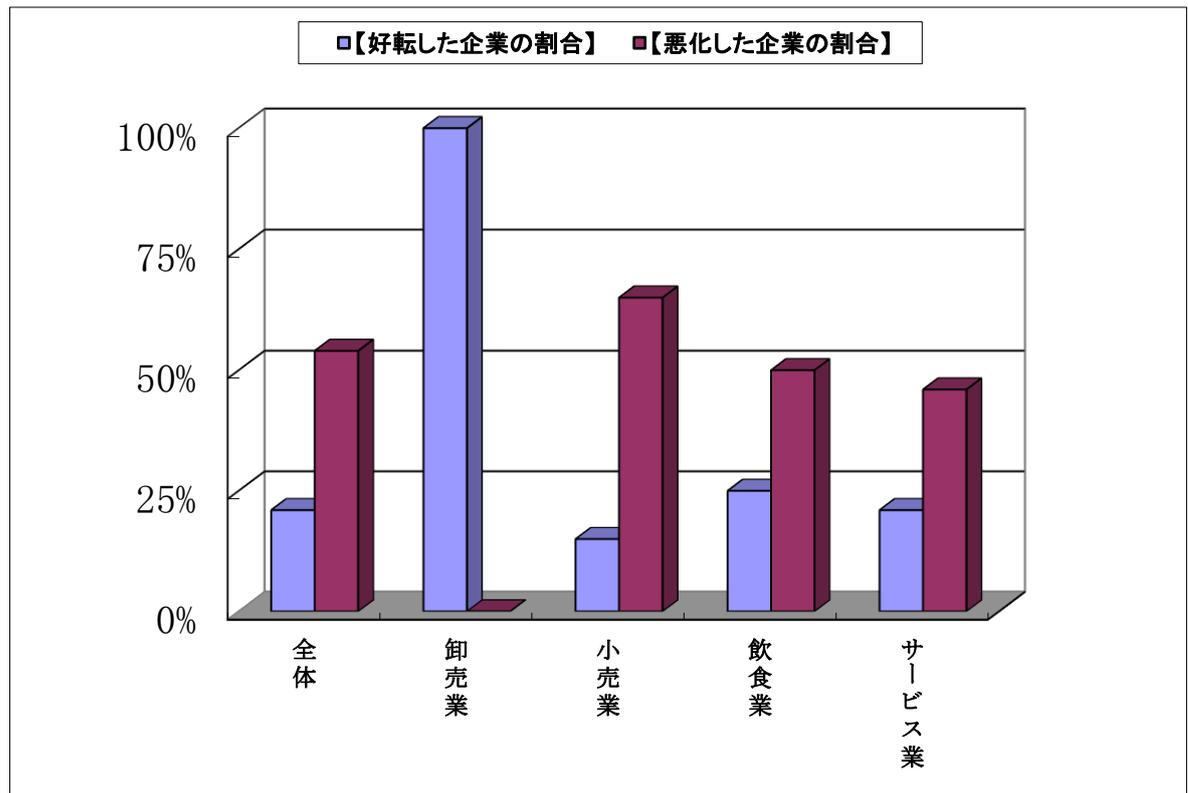


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

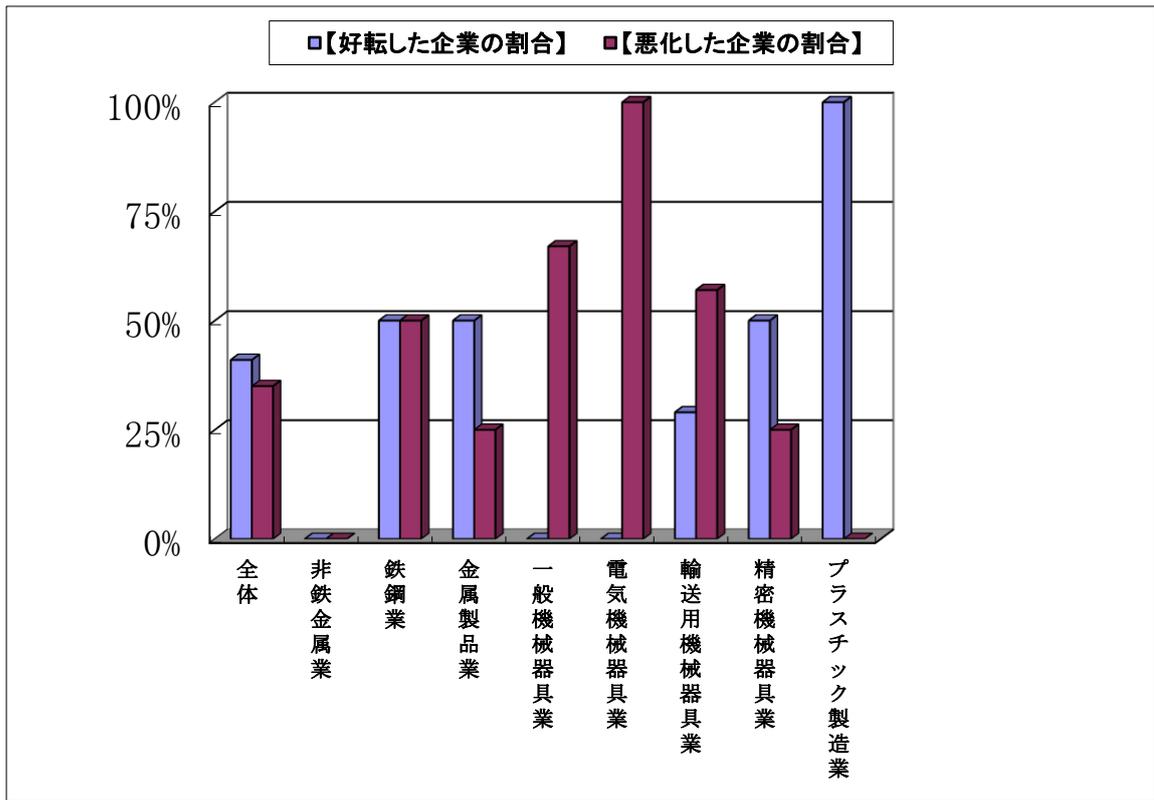
【建設業】



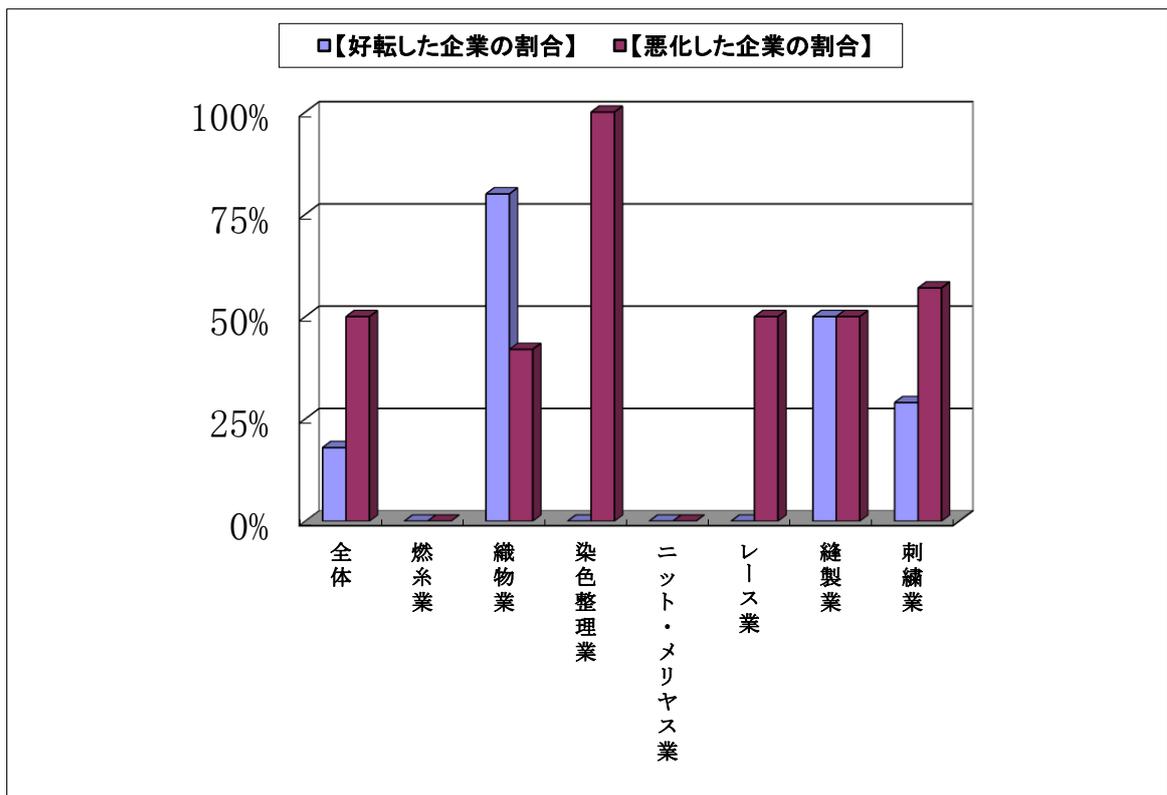
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



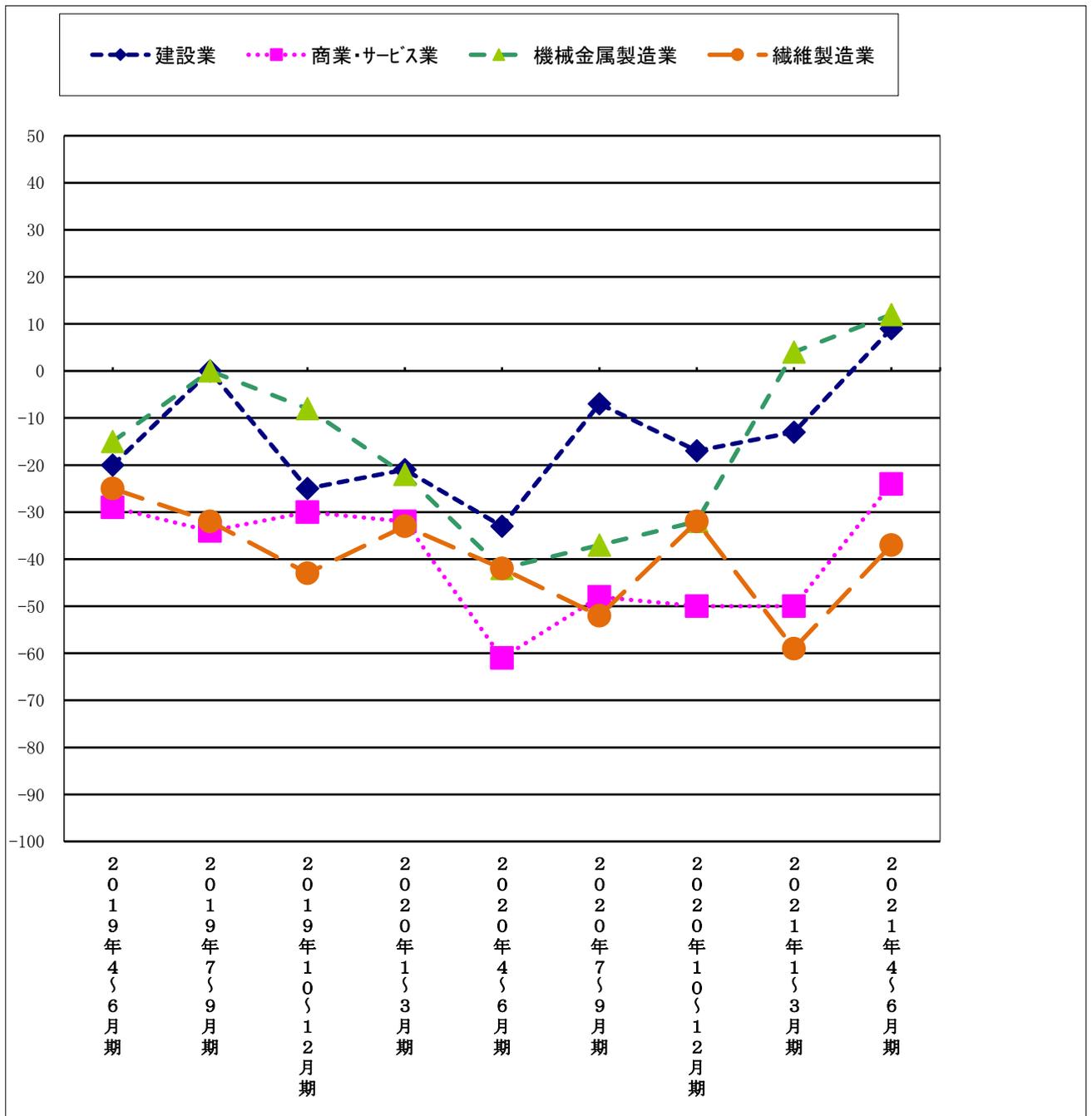
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
2019年4～6月期	-20	-29	-15	-25
2019年7～9月期	0	-34	0	-32
2019年10～12月期	-25	-30	-8	-43
2020年1～3月期	-21	-32	-22	-33
2020年4～6月期	-33	-61	-42	-42
2020年7～9月期	-7	-48	-37	-52
2020年10～12月期	-17	-50	-32	-32
2021年1～3月期	-13	-50	4	-59
2021年4～6月期	9	-24	12	-37

[2019年4～6月期] から [2021年4～6月期]



今期直面している経営上の問題点

	1位(%)		2位(%)		3位(%)		4位(%)		5位(%)		
建設業	民間需要の停滞		材料価格の上昇		熟練技術者の確保難		請負単価の低下・上昇難		従業員の確保難		
	24.1		19.3		13.3		9.6		8.4		
	前期	1位 18.6	6位 7.0	1位 18.6	4位 9.3	3位 16.3	前年同期	1位 30.6	7位 2.8	3位 8.3	4位 5.6
商業・サービス業	需要の停滞		消費者ニーズの変化への対応		購買力の他地域への流出		従業員の確保難		ネット販売の拡大		
	20.5		14.1		8.6		8.6		6.5		
	前期	1位 25.4	2位 14.1	4位 6.3	5位 4.9	6位 4.2	前年同期	1位 21.8	2位 13.6	4位 8.2	8位 4.1
機械金属製造業	需要の停滞		原材料価格の上昇		製品単価の低下・上昇難		生産設備の不足・老朽化		従業員の確保難		
	14.9		13.8		12.8		9.6		8.5		
	前期	1位 14.9	3位 12.2	1位 17.6	4位 10.8	8位 5.4	前年同期	1位 22.7	7位 4.5	2位 15.2	4位 10.6
繊維工業製造業	需要の停滞		製品ニーズの変化への対応		原材料価格の上昇		製品単価の低下・上昇難		取引条件の悪化		
	28.6		10.7		8.3		8.3		8.3		
	前期	1位 31.0	2位 15.5	4位 10.3	5位 8.6	7位 3.4	前年同期	1位 30.4	3位 10.7	8位 1.8	4位 7.1

事業所からのコメント（直面している問題点など）

〔建設業〕

- ・引き続き労働力不足。現在機材を増やし対応。
- ・みどり市と比べ住宅着工件数が少ない傾向にある。住宅取得応援助成金の充実等により増加を目指してほしい。
- ・ウッドショックの影響が出ている。
- ・コロナによる売上減少に加え木材の入手難、価格上昇で苦しい状況。
- ・新卒採用、中途採用の困難及び安値受注競争。
- ・材料価格の上昇、人件費増、重機器の使用費上昇。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の為、設備投資を取りやめている。

〔商業・サービス業〕

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により消費者ニーズが変化している。
- ・飲食店だけコロナに関する助成金があるのはおかしい。
- ・コロナにより外出自粛により顧客が商店街に出てこない。
- ・ワクチン接種が進まないと元に戻ることはなく接種が景気対策であると思う。70%以上のワクチン接種を11月末までに望む。
- ・店主高齢、顧客高齢により客足が悪い。これからは心配。
- ・前の期と同様コロナ渦が続くことで元の受注状況には戻らないと思う。
- ・コロナ渦により売上減少、在庫過多。
- ・コロナ渦の影響で学生需要が膨らんでおり、自動教習業の景況は決して悪くない。今後対面授業への切り替えがどの程度進むかで需要が左右される。
- ・M&A等により地元事業所に大都市の資本が入り、繋がりを断たれるケースが増加。

〔機械金属関連業〕

- ・売上高は対前年比増加であるが、コロナ前の水準には戻っていない。
- ・取引の転換により好転となった。
- ・半導体不足により客先が減産、その他樹脂材の不足等により影響。
- ・今後の見通しが立たない不安が大きい。
- ・業界、業種に関わらず厳しい環境ではあるが、過去にもこのような時代は幾度もあったので特に異常事態とは思っていない。
- ・自動車業界は半導体部品の不足で2021年1月より30%ほどの減産となっている。

〔繊維工業〕

- ・ワクチン接種が進まず経済活動にマイナスとなっている。
- ・インターネットを活用しての販売が欠けていること。
- ・イベント関係、展示会等の中止により今後の予定が立てられない。